

ジェトロ・ドバイ事務所

2024 年 9 月 13 日作成

アラブ首長国連邦（UAE）におけるアウトドア用品市場調査**<サマリー>**

アラブ首長国連邦の人口は 1,009 万人（2023 年）¹、うち自国民が人口の約 11.5%で、外国人居住者が 88.5%となっており、国籍、嗜好も様々と言われている。

UAE の気候は夏の期間（5 月中旬～9 月下旬）日中はしばしば 45 度を超え、夜間でも気温が 35 度、湿度が 85%に上がることがあり、屋外で過ごすことが不快と感じられる季節でもある。過ごしやすい期間（11 月～3 月）は約 4 ヶ月程度で、その期間の平均最高気温は 27 度、湿度 25%台となるが、雨期とされる季節（1 月～3 月）でも、平均合計累積降雨量は 17 ミリと少なく、年間を通して晴れている状態が多い。

過ごしやすい天候が訪れると、砂漠で大きなテントを張って、昔ながらのベドウィンのような生活習慣をレジャーとして楽しむ UAE 人もいる。また、家族やグループで砂漠に星を見に出かける人々もいる。国内には緑に覆われた山がなく、岩がメインの山を登るなど、トレッキングをする人々や、デザートサファリ（砂漠ツアー）を企画するインバウンド観光業者、グランピングを行っているホテル関連企業もあり、観光シーズンには盛況となるようだ。

ドバイ政府の経済観光省の発表によると、2023 年度の宿泊を伴う観光客数は 1,715 万人で人口の約 1.7 倍となっており、夏型の気候を好むと言われる欧米（ロシア・CIS を含む）、オーストラリアからの観光客も多く、合わせると約 712 万人となっている。観光客の 77%がビーチを訪れ、48%が砂漠サファリを楽しむとの報告がなされている。²

<市場規模>

アウトドア用品は材質によってカテゴリーが多岐に渡るため、ここではキャンピングで使われるテント等(HS コード 6303)、ランプ・ライト類(HS コード 8513)、その他、腰掛け(HS コード 940179)、寝袋(HS コード 940430)に焦点を当て、アウトドア用品の市場規模と推移を表す。(テーブル、ソファ、調理器具などはアウトドア用か否かが HS コード上に明記されていないため含めていないが、アウトドア用家具の専門店舗は存在する。状況については、後述する地場企業の店舗を参照。)

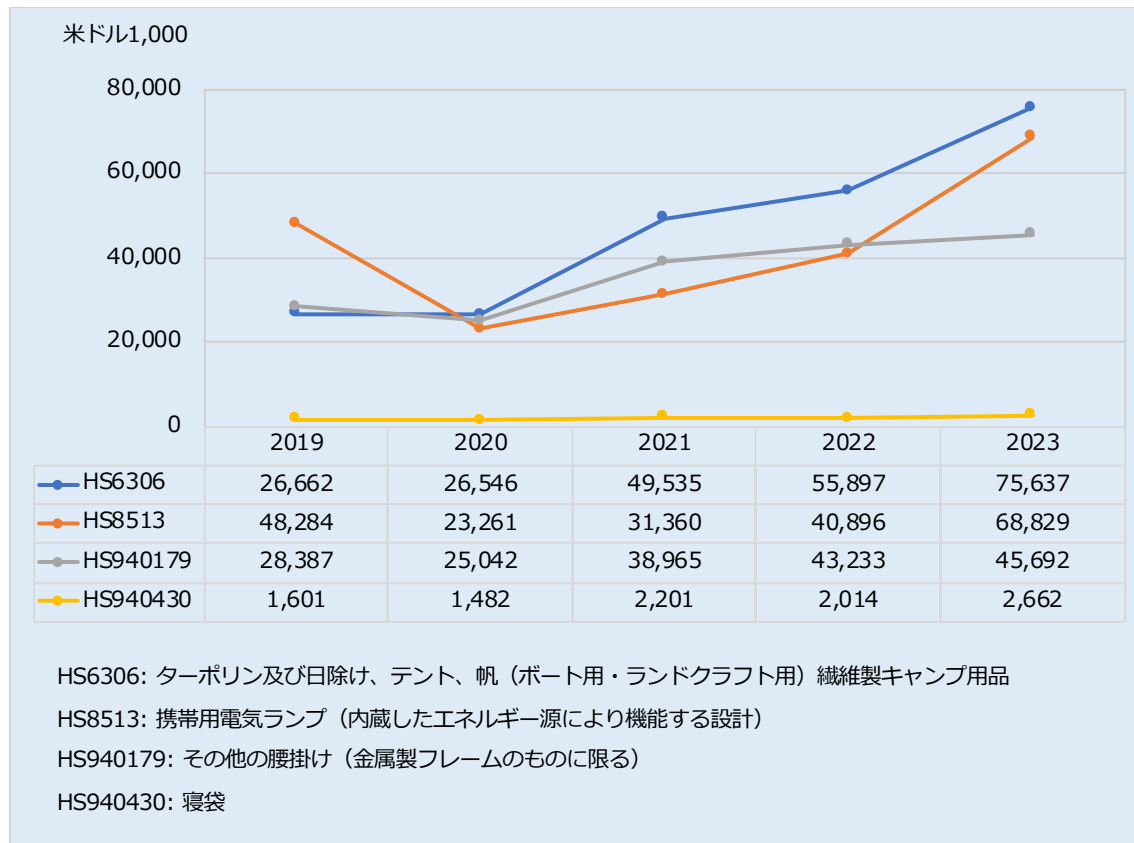
以下、図 1 の UAE のアウトドア用品の過去 5 年間の輸入実績と推移を見ると、コロナ禍の影響があった 2020 年、急激に需要は減少しているが、2021 年以降の需要は年々上がっており、特にテント、日よけ等、繊維を使用する製品の需要が伸びている。テント・日よけ類は、コロナ前の 2019 年と比較すると、2023 年度は約 2.8 倍、携帯用ランプ類は約 1.4 倍、腰掛け類は約 1.6 倍、寝袋は 1.7 倍となっている。

¹ https://www.jetro.go.jp/world/middle_east/ae/basic_01.html

² <https://www.dubaidet.gov.ae/en/research-and-insights/annual-visitor-report-2023>

輸入額においては、2023 年度、テントなどのキャンプ用品が一番多く、約 7,600 万米ドル、続いて、携帯用ランプ・ライト類が約 6,900 万米ドル、その他、腰掛けが約 4,600 万米ドル、寝袋が約 270 万米ドルとなっている。

図 1. UAE におけるアウトドア用品の輸入額推移 (2019 年～2023 年)



出所：[ITC Trade Map](#) より作成

2022 年度の輸入相手国は、以下、表 1 となっている。
(2023 年度の国別の輸入実績は現在未更新)

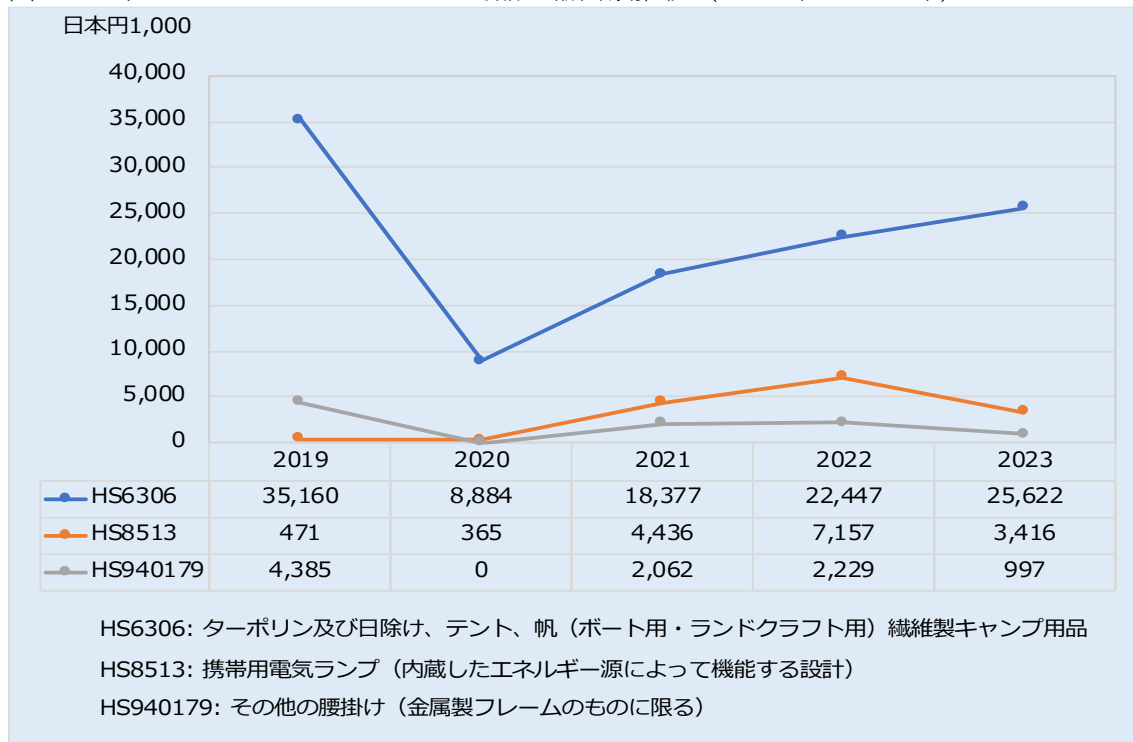
4 カテゴリーとも、世界の製造拠点となっている中国の占める割合が圧倒的に多い。テント、キャンプ用品の総輸入額は約 5600 万米ドルで、輸入相手国 65 カ国にのぼる。うち、上位 7 カ国で 87.7 %を占めており、中国 31%、パキスタン 21%、インド 13% の順となっている。携帯用ランプ・ライト類の輸入実績は約 4100 万米ドルで、輸入相手国は 44 カ国、上位 7 カ国で 96.1 %を占め、うち 86%が中国からの輸入で、他の 6 カ国が 2~1%を占める形となっている。その他、腰掛けの輸入実績は 4300 万米ドルで、輸入相手国は 53 カ国、上位 7 カ国で 85.1%を占め、中国が 46%、インドネシアが 11%、イタリアが 8%となっている。寝袋については、総輸入額が 200 万米ドルと 3 カテゴリーの中では一番低く、輸入相手国は 23 カ国、上位 7 カ国で 96.8%を占め、うち中国 56%、インド 13%、エジプトが 10%となっている。

表 1. UAE のアウトドア用品の主な輸入相手国 (2022 年) (単位: 米ドル 1,000)

輸入品目	総輸入額	上位 7 カ国輸入額	構成比	主要輸入相手国上位 7 カ国(%)
HS6306	55,897	49,046	87.7%	中国(31) / パキスタン(21)/ インド(13) / サウジアラビア(8%)/アメリカ(7) /イタリア(5)/フランス(3)/他 58 カ国
HS8513	40,896	39,286	96.1%	中国(86) / アメリカ(2)/ イギリス(2)/シンガポール(2) / インドネシア(2)/オーストラリア(1)/インド(1)/他 37 カ国
HS940179	43,233	36,770	85.1%	中国(46) / インドネシア(11) / イタリア(8) / インド(7) / ベトナム(7)/スペイン(5)/台湾(5)/他 46 カ国
HS940430	2,014	1,949	96.8%	中国(56) / インド(13) / エジプト(10)/スペイン(8) / バングラデシュ(5)/ベトナム(4)/トルコ(1)/他 16 カ国
合計	142,040	127,051	89.4%	

出所: [ITC Trade Map](#) より作成

図 2. 日本から UAE へのアウトドア用品の輸出額推移 (2019 年~2023 年)

出所: [財務省貿易統計](#)より制作

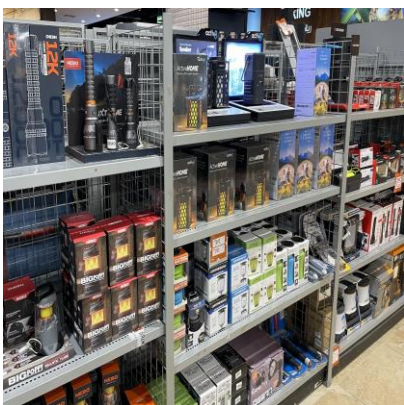
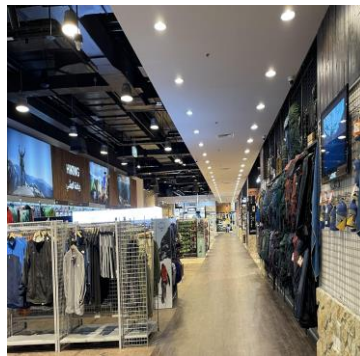
日本から UAE へのアウトドア用品の輸出額推移は上記、図 2 の通り。2020 年度においてはコロナ禍の影響を受け急激な落ち込みが見られたが、その後は持ち直している。2023 年度、テント、キャンプ用品 (HS6063) は対前年比 114%と上昇している一方で、携帯用ランプ(HS8513)とその他の腰掛け(HS940179)の 2 カテゴリーは、対前年の 50%を下回っている。また、日本からの寝袋(HS940430)の輸出は過去 5 年間に見られなかった。

<国内のアウトドア用品の店舗状況>

国内のアウトドア用品を扱う店には、キャンプ、ハイキングなどのレジャー用品を専門に扱う店、アウトドア用の家具を専門に扱う店、レジャー用品と家具の両方を扱う店舗がある。また、アウトドア・スポーツ用品を専門に扱う海外のチェーン店や、アウトドア商品を専門に扱うオンラインショップもある。

以下に地場企業の店舗を挙げる。

●Adventure HQ: 大手企業、Sharaf Group が手がけるアウトドア商品専門の店舗。国内に 5 店舗を構える。キャンプ、ハイキング、サイクリング、ウォータースポーツ関連のさまざまな機器、アクセサリ類、アパレルなど 350 を超える世界的に有名なブランドを扱う。



上段左：店舗外観 中：リュック・アパレルのコーナー 右：テント・椅子
下段右：ランプ類の棚 中：アウトドア用冷蔵庫 (21L/34L) 右：調理器具 (撮影：筆者)

オーストラリア、アメリカ、欧州系のブランドを数多く揃えている。以下に例を挙げる。

- ・アパレル/シューズ：「North Face」「Colombia」「Selewa」「XTM」
- ・リュック (長期用) /ハイキング用のバックパック：「Osprey」「DUETER」

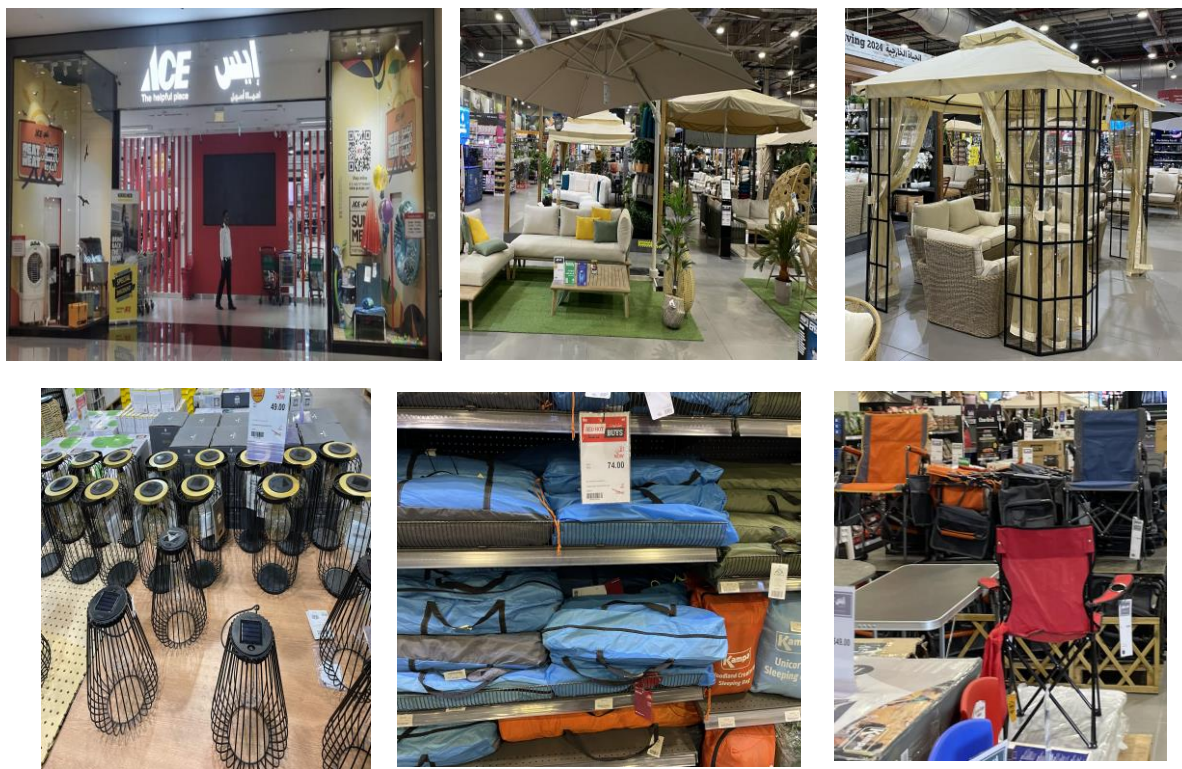
- ・ テント/日除け/椅子/テーブル：「Oztrail」「Core Equipment」「Coleman」
- ・ ライト/ランプ：「NEBO」「Ledlenzer」「Oztrail」「Core Equipment」
- ・ 寝袋：「Roman」「Teton」「Outwell」「Klymit」
- ・ 調理関連：「Stanley」「Sea to Summit」「CamelBak」「Kovea」
- ・ 冷蔵関連：「Dometic」「Eco Flow」「Coleman」

広い店内はアパレル、シューズ、登山用リュック、ハイキング用のバックパックなどが半分を占め、キャンプ用品、ウォータースポーツ、サイクリング用自転車などで後の半分を占めている。日本のブランドでは、サイクリング用部品のブランド「Shimano」を扱っている。アウトドアに興味を持つ UAE に居住している欧州系やロシア系の客が多く、質を求める客が来店する。夏はほとんどの住民が休暇に入るが、本格的な登山やトレッキングのために海外に出かける人々も多く、リュック、アパレル、シューズや小物などが中心に売られている。9 月から人々が休暇から戻り、落ち着いた 10 月頃から、国内でアウトドアを楽しむため、自転車、テント、ポータブル冷蔵庫、調理用品など、様々なアウトドア用品が売れていく。（プロダクトスペシャリストへの聞き取り調査より）

商品・値段については以下のサイトを参照。（1 AED=約 40 円）

<https://adventurehq.ae/collections/camp-hike>

●AI Futtaim-ACE：地場の大手複合企業である AI Futtaim Group が、ACE よりライセンス権を取得し運営している店舗。アウトドア家具、アウトドア用品、電動工具類、ガーデニング用品、レジャー用品などの輸入販売を行っている。国内に 8 店舗を展開。



上段左：店舗外観 中：日除け(角度変更可) 右：ガゼボ(黒の支柱はメタル)

下段左：ソーラーランタン 中：テント・寝袋の棚 右：アウトドア用椅子 (撮影：筆者)

電動工具、DIY 商品、アウトドア用家具で店内の殆どが占められている。店内でキャンプ用品は販売されているが、キャンプ向けのアパレル・シューズなどの販売はない。以下にアウトドア用品のブランド例を挙げる。オンラインサイトでは、下記海外ブランド商品の他に「ACE」ブランド、また、ブランド名のない ACE UAE が購入した商品を「Own Buy」として掲載、販売されている。

- ・パラソル/アンブレラ/ガゼボ：「Hesperide」「Living Accents」
- ・ライト/ランプ：「The Outdoors Company」「Atmosfera」「Coughlan's」
- ・テント/日除け/寝袋/椅子：「Wild Land」「Dometic Kampa」「Coleman」「Oxford」
- ・調理関連：「Campingaz」「Maagen」「Flame-On」「Lodge」
- ・冷蔵関連：「Cosmo Plast」「Keep Cold」「Dometic」「Makita」

夏季は居住者が子供を連れて自国に夏休みに出かけるため、客自体が減少する。キャンプ用品の需要も減少するので、9 月に客が戻ることを見越して、店内商品の配置を変更し、テント商品などの組み立てを始め、展示する。9 月現在、バックパッキングテントや寝袋の在庫のセールを実施している。アウトドア用家具の中でも、庭で使用するパラソルなどの日除け類は、日中の日差しが非常に強いため、夏場に限らず 9 月以降でもよく売れる。レジャーシーズンとなれば、バーベキューなどのアウトドア調理器具、冷蔵関連の商品も、キャンプ、ハイキングや釣りに興味のある人々に、10 月下旬～4 月くらいまで売れていく商品である。(アウトドア商品担当マネージャーへの聞き取り調査による)

商品・値段は以下サイトを参照。(1 AED=約 40 円)

<https://www.aceuae.com/en-ae/>

●Al Bawadi :キャンプ用品の専門店。アパレル、シューズなどの取り扱いはない。扱っている商品はテント及び車の上に取り付けるルーフトップテント、寝袋、ライト類、椅子、テーブル、ポータブル電源、調理器具、冷蔵関連用品、ポータブルトイレなどがある。自社ブランド製品「Al Bawadi」と、日本や欧米にも輸出されている中国ブランド「Wild Land」、「EENOUR」、「Toby's」などを扱っている。また、製品のカスタマイズも行っており、アラビア風の敷物やクッションなどのキャンプ用品も販売。ルーフトップテントの据付は、ビジネスパートナーとなっている専門の業者が行っている。



上段左：店舗外観、テントは店の外側に展示 中：店内は、日除け、椅子、調理、冷蔵用品などが並ぶ
右：自社ブランドのテント 下段左：ルーフトップテントの展示 中：業者により車に据えつけられたルーフトップテント（閉じた状態） 右：ルーフトップテントが立ち上がった状態（ルーフトップテントは全て「Wild Land」社製）（撮影：筆者）

ルーフトップテントの展示、販売は「Al Bawadi」の店舗で行っているが、据付に関しては「B One Customs」が行い、「Camp Gear UAE」の自社オンラインサイトで販売も行っている。購入者はアウトドアに興味のある人々で、UAE に居住している欧米系が多く、アジア系、UAE 人は少ない。また、個人でルーフトップテントをつけた車を貸し出す人もいよう。ルーフトップテントを使用する人々は、オマーンやサウジアラビアなどで絶景スポットを探しながら、少なくとも2～3日かけて長距離を移動し、アドベンチャー風のキャンプを楽しむことが多い。そういったキャンプ移動には、冷蔵・ランプ・トイレ・シャワーなどの装備も必要なため、車内の改造も依頼されることも多い。UAE 国内での1日位のキャンプやハイキングでは、多くの装備は必要なく、普通のテントやランプ、バーベキューセットを携帯する程度で十分だが、一度ルーフトップテントを取り付けると、快適さが全く違う。キャンプをしない時は、ルーフトップテントを閉じた状態で、ガレージの天井に据付け、車から外しておけるようにもできる。数年前に比べて、アウトドアの商品群も増え、需要も伸びていると感じる。（ルーフトップテントを据付けている Camp Gear UAE/B One Customs のオーナーへの聞き取り調査による）

商品・値段は以下サイトを参照。（1 AED=約 40 円）

<https://albawadicamp.com/collections/roof-tent>

<https://campgearuae.com/>

●Maze: 高級アウトドア家具を扱う店舗。全ての家具はイギリスでデザインされ、インドネシアで製作されている。顧客は富裕層、ホテル、レストランなどのホスピタリティー系の業態。



上段左：店舗外観 中：日除け(角度変更可) 右：ペーゴラ(黒の支柱はメタル・屋根と壁側は電動で開閉でき外光をコントロールできる) 下段左：調理用ファイアーピット付きのテーブル 中：ソファ、ソーラーランタン、ファイアーピット付きセンターテーブル
右：アウトドア用調理器具各種(グリル・冷蔵庫・ピザオープン・バーベキューなど要望に応じて設置)
(撮影：筆者)

ドバイの気候は暑く、夏は湿度が高い。温度が下がっても、日差しが非常に強いので、アウトドア家具は品質が良くないとダメージを受けやすい。ここにある家具は全て高品質で、耐久性に優れている。メタル部分はアルミをベースにパウダーコーティング処理されており、ダイニングテーブルのトップにはセラミックガラスを使用、木材はドバイの気候に適応するチーク材を使用している。客層はプール付きの邸宅に居住している人々が多く、自宅の庭などでゲストをもてなす機会が多い。こういった層はアートにも興味があり、感度の高い人が多く、高品質かつデザイン性を重視した商品を求める。夏場は暑すぎるため、個人で購入のために来店をする人は少なくなるが、そういった夏の閑散期にはホスピタリティー業界がリノベーションを行うことも多く、改装を手がける人々が来店することも多い。(セールスマネジャーへの聞き取り調査より)

商品・値段は以下サイトを参照。(1 AED=約 40 円)

<https://maze.me/collections/outdoor-furniture>

最後に：

従来、UAE で商品を流通させるには、自国民か、UAE 資本 100%の法人代理店を通して政府に登録、販売するとした商業代理店法があった。しかしながら、近年、会社設立法が改訂され、外資 100%の企業の進出が国内でも容易にできるようになっている。³これによって、海外から進出する企業も年々多くなっており、人口も増加している。また、現地デベロッパーからの聞き取りによれば、土地開発により人工的に作られた水辺(クリーク)や人工島、海岸線には高価な物件があり、投資家など富裕層が多く、邸宅を購入する人々も多い。こういった富裕層向けのインテリアデコレーターも増えているという。UAE のアウトドア用品の市場は伸びており、実に様々な商品がある。国内レジャー用で使用されるものは、安価な商品も多いが、屋外で使用されるインテリアの需要は、邸宅に限らず、デザインを重視するホスピタリティー系の需要もあると思われる。調査では、レジャー用アウトドア用品は量的には圧倒的に中国製が多いが、信頼性の高い欧米系ブランド(中国で製造されているものも含む)を求める人々もいる。一般的に、UAE でも日本ブランドは質の高さや信頼性が評価されているが、この業界での流通は見られないとの意見が多数の店舗で聞かれた。安価な商品を市場に供給するために、中国で製造した自社ブランドを販売する企業もあるが、欧米ブランドは代理店を通して商品を流通させているようだ。地場の企業で店舗展開している企業でも、何らかのブランド商品の独占代理権を持っている企業も多い。また、こうした企業の中には、湾岸諸国に進出している企業も多く、販売網やマーケティングにおいて卓越しており、販売委託をするメリットもある。一方で UAE に拠点を置く地場企業と販売委託契約を結ぶ場合、UAE のみならず、湾岸諸国での独占代理権を要求される事がしばしば起こる。契約を交わす場合は、企業に関する情報、契約内容、条

³https://www.jetro.go.jp/ext_images/jfile/country/ae/invest_09/pdfs/ae12A010_gaikokukigyoku_kyotenkeita_i.pdf

件を把握し、現地の事情に詳しい法律事務所に契約内容を確認してもらう事が非常に重要である。

(湾岸諸国：UAE・サウジアラビア・クウェート・カタール・バーレーン・オマーン)

以上

○作成：ジェトロ・ドバイ事務所

【レポートの利用についての注意・免責事項】本レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）ドバイ事務所が委託先 GEN Events LLC に作成委託し、2024 年 8 月に入手した情報に基づき作成したものです。掲載した情報は作成委託先の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。本レポートはあくまでも参考情報の提供を目的としており、提供した情報の正確性、完全性、目的適合性、最新性及び有用性の確認は、読者の責任と判断で行うものとし、ジェトロおよび GEN Events LLC は一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロおよび GEN Events LLC が係る損害の可能性を知らされていても同様とします。

【レポートの内容に関するお問い合わせ先】

ジェトロ・海外展開支援部中堅中小企業課プラットフォーム班 platform-bda@jetro.go.jp

◆「海外発トレンドレポート」読後アンケートにご協力ください◆

本レポートは皆様の海外ビジネスにお役に立ちましたでしょうか？

今後の参考のため、役立ち度アンケートにご協力頂けましたら幸いです。

(所要時間：約1分)

